

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.T	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3	派遣国	台湾
派遣大学	東海大学		
期間	2022年 9月26日～2023年 6月19日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 (4人部屋)					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (45000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5 から 15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	20000 円	夜市に行くと安い、少し歩く
学用品購入費	10000 円	教科書代
交通費	0 円	バス定期が無料で作れる
交際費	20000 円	夜市に行くとドリンクを飲んだり
その他	円	
合計	50000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

夜市に行くと交通規制もなくバイクと歩行者がごちゃ混ぜになっていて、歩くときは注意が必要です。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(3000) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 () 台中市 台湾のちょうど真ん中に位置する都市で、他の都市と比較するとバス便が豊富で、これらの費用も大学生なら定期を無料で作ることができるなど、交通の利便性が非常に高い。台中市内であればバスでほとんど行くことができるため、留学費用を少しでも抑えたいという人におすすめです。また、台中は台湾の真ん中に位置するため、台湾全体を旅行したいという場合に比較的安易に実行することができます。 東海大学は山の上に存在する大学で標高が高いため、南国と言われている台湾でも冬は冷たい風が強く吹き、しっかりと寒いため、防寒着を持っていないと風邪をひいてしまいます。私の場合、台湾全体が一年を通して暖かいだろうと思って防寒具を持っていかなかったところ、しっかりと風邪をひいて台湾の病院にもお世話になったので、油断禁物です。

【学業編】

1. 大学情報

大学	東海大学	所在地	台中
最寄空港	桃園空港	空港からの距離	高速バスで 2 時間・新幹線で 1 時間
空港⇄大学	(高速バスまたは新幹線) *移動手段		
学生数	約 17000 人	留学生数	約 100 人
学部	The college of arts The college of science The college of engineering The college of Management The college of Social Science The college of Agriculture and Health The college of Fine Arts and Creative Design The college of Law *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	特別生として、どの学部の授業も受講することが可能でした。 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	The Important Global Issues	International Human Resource Management @Management	フリー	フリー	Leadership& Global Citizen For 21th Century
午後	フリー	フリー	中国語の授業 @語学学校	フリー	日本で所属しているゼミへの出席 @オンライン 中国語の授業 @語学学校

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	フリー	Topics in English @Management	Image and the city@Language	Topics in English @Management	East Asia's Global Future
午後	中国語の授業 @語学学校	フリー	中国語の授業 @語学学校	Democracies in East Asia	日本で所属しているゼミへの出席 @オンライン

3. 履修内容

科目	The Important Global Issues		
履修期間	9月から1月	単位数	2
授業内容／形態	世界で起きているさまざまな問題について深く知る。そしてこれらの解決、平和のためには何が必要なのかについて検討する。 対面授業で普段は教授が生徒に問題について講義を行い、期末にはグループプレゼンテーションを行う。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	グローバル公共政策論	
	単位数	2	
	担当教員	上村	

科目	Leadership & Global Citizen for the 21 Century		
履修期間	9月から1月	単位数	3
授業内容／形態	各講義によってそれぞれゲストが呼ばれ、お話を聞く。彼らは自分達で事業を立ち上げ、活躍している人たちである。グループに分かれてそれぞれ担当のゲストに事前にインタビューを行い、ゲストの簡単な紹介を授業の初めに行う。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	Global Leadership	
	単位数	2	
	担当教員	不明（今年度休講のため）	

科目	International Human Resource Management		
履修期間	9月から1月	単位数	3
授業内容／形態	国境を超えて経営をする際に必要な人材育成や人材確保はどのようにあるべきなのかについて検討する。また、各国ごとの企業の経営形態がどのような種類や違いがあるのかについても学ぶ。期末にはグループごとに事例研究を行い、その後結果のプレゼンテーションを行なった。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	Global Human Resource Development	
	単位数	2	
	担当教員	小泉大輔	

科目	Image and the City		
履修期間	2月から6月	単位数	2
授業内容／形態	世界中の都市の景観や機能についての歴史的な変遷をみていく。定期的に課題があり、中には自分達の出身地を歴史的に分析する課題もあった。期末ではグループごとに台中市内の施設を研究し、発表する機会があった。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目	都市解析	
	単位数	2	
	担当教員	後藤	

科目	Democracies in East Asia: from the Cold War to today		
履修期間	2月から6月	単位数	2
授業内容／形態	東アジアにおける政治や国際関係について、冷戦前後から現代までの時代に絞って詳しく知る。当時の政治についてどう思うか、歴史的事実の確認などを毎時間ディスカッションした。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	東アジア史 A	
	単位数	2	
	担当教員	乙坂	

科目	East Asia's Global Future		
履修期間	2月から6月	単位数	2
授業内容／形態	東アジアにおける国際関係、各国の経済発展について研究する授業である。現代の問題を多く取り扱っている。台湾と中国の歴史的観点からの関係性、新型コロナウイルス対策における各国の違いなどを取り扱った。期末にはグループごとに好きなテーマをもとにプレゼンテーションを行なった。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	東アジア社会経済論	
	単位数	2	
	担当教員	柿崎一郎	

科目	Diversity of World's Languages II		
履修期間	2月から6月	単位数	2
授業内容／形態	世界で話されている言語について、これらの言語がどのようにして誕生し、世界中に言語が蔓延るようになったのかについて資料を遡っていく授業である。期末課題にはプレゼンテーションと筆記テストがある。それぞれ言語の種類が書かれたリストからテーマを選んで発表、記述を行う。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	言語学	
	単位数	2	
	担当教員	有井	

科目	Topics in English		
履修期間	2月から6月	単位数	3
授業内容／形態	英語を話したり聞いたりする機会が多くある授業である。英語を用いて紙芝居での物語を発表したり、自分達で動画撮影を行なって映画などの映像作品を作って公開したりなど、さまざまなアクティビティがあった。一番クラスメイトと関わり、仲良くなれた授業だった。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	留学科目	
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	HT	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3	派遣国	台湾
派遣大学	東海大学		
期間	2022年 9月26日～2023年 6月 19日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	The Important Global Issues
講義内容	世界で起きているさまざまな問題について深く知る。そしてこれらの解決、平和のためには何が必要なのかについて検討する。 対面授業で普段は教授が生徒に問題について講義を行い、期末にはグループプレゼンテーションを行う。
科目	Leadership & Global Citizen for the 21 Century
講義内容	各講義によってそれぞれゲストが呼ばれ、お話を聞く。彼らは自分達で事業を立ち上げ、活躍している人たちである。グループに分かれてそれぞれ担当のゲストに事前にインタビューを行い、ゲストの簡単な紹介を授業の初めに行う。
科目	International Human Resource Management
講義内容	国境を超えて経営をする際に必要な人材育成や人材確保はどのようにあるべきなのかについて検討する。また、各国ごとの企業の経営形態がどのような種類や違いがあるのかについても学ぶ。期末にはグループごとに事例研究を行い、その後結果のプレゼンテーションを行なった。
科目	Image and the City
講義内容	世界中の都市の景観や機能についての歴史的な変遷をみていく。定期的に課題があり、中には自分達の出身地を歴史的に分析する課題もあった。期末ではグループごとに台中市内の施設を研究し、発表する機会があった。
科目	Democracies in East Asia: from the Cold War to today
講義内容	東アジアにおける政治や国際関係について、冷戦前後から現代までの時代に絞って詳しく知る。当時の政治についてどう思うか、歴史的事実の確認などを毎時間ディスカッションした。
科目	East Asia's Global Future
講義内容	東アジアにおける国際関係、各国の経済発展について研究する授業である。現代の問題を多く取り扱っている。台湾と中国の歴史的観点からの関係性、新型

	<p>コロナウイルス対策における各国の違いなどを取り扱った。期末にはグループごとに好きなテーマをもとにプレゼンテーションを行なった。</p>
科目	Diversity of World's Languages II
講義内容	<p>世界で話されている言語について、これらの言語がどのようにして誕生し、世界中に言語が蔓延るようになったのかについて資料を遡っていく授業である。期末課題にはプレゼンテーションと筆記テストがある。それぞれ言語の種類が書かれたリストからテーマを選んで発表、記述を行う。</p>
科目	Topics in English
講義内容	<p>英語を話したり聞いたりする機会が多くある授業である。英語を用いて紙芝居での物語を発表したり、自分達で動画撮影を行なって映画などの映像作品を作って公開したりなど、さまざまなアクティビティがあった。一番クラスメイトと関わり、仲良くなれた授業だった。</p>

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回が私にとって初めての留学、海外滞在でした。日本にいる時とは全く違う環境に身を置いたことで気づいたことがたくさんありました。まず第一に気づいたことは、「環境の変化に対する免疫のなさ」でした。シャワー室やお手洗いがあまり清潔でなく、部屋も共同なので、衛生環境が良くありませんでした。すると、蚊に刺されてかきむしった傷口から菌が入り、炎症が起きてしまいました。同じ部屋で同じ環境にいた日本人の友達たちは対して影響されていない様子でしたが、彼女たちには海外経験があり、このような変化に免疫があるんだと思いました。おかげで台湾における病院の行き方や、病院に行った際に必要な中国語の単語を学ぶことができました。他にも、台湾の中でも台中の気候をよく調べていかなかったことが原因で、防寒具を持って行きませんでした。すると、東海大学は山の上に位置する標高の高いところだったので、冬になると冷たい風がビュービュー吹いてとても寒かったです。そのため、これらの寒さにやられてまた体調を崩し、夜間の病院にもお世話になりました。夜間になると日本と同様値段が普段より五倍くらい高くなり、予想外の出費でした。この経験から私は留学に行く前に留学先がどのような環境にあるのかを詳細に調べておくことの大切さを知りました。

留学の際に私は東海大学の中にある語学学校に通うこととなりました。留学生のうちほとんどが中国語の授業数が毎日あるコースにしていたのですが、私の場合日本のゼミにもオンラインで出席しなければならなかったため、比較的人数の少ない週に 2 回のコースを選択しました。その時のクラスメイトはスペイン人が 3 人と、ポーランド人が 1 人、ドイツ人が 1 人で唯一のアジア人が私だけという環境のもと、授業を受けていました。授業の中ではそれぞれの文化について中国語を話しながら紹介していく機会があったのですが、町並みから食べ物、気候、文化など全てが違ってとても新鮮でした。また、コミュニケーションの取り方やパーソナルスペースの取り方、表情の変化までが違っていました。スペインといえば情熱的であるというイメージがありましたが、そのイメージ通り、嬉しいと感じたらハグをして喜びを全力で表現している場面が何度も見られました。このことをドイツ人の友達と話していたら、彼女たちは表現がオーバーに見えるけど、感情の表し方に関しては日本も行動は違えどオーバーにしていると言っていました。この会話を通じて私は文化や国ごと、または人ごとに感情の昂りは同じくらいでもそれらの表し方の方法は無限大にあるんだということを学びました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

この留学を通じて日本の外の世界にはいろんな文化や考え方があるということを感じることができました。また、彼らとコミュニケーションを取ることや、日本語の通じない台湾での生活を通して思ったことは、英語や中国語を完璧に使えなくてもアイコンタクトやボディランゲージなどの言語以外の要素を使うことで楽しく、関係性を深めることができるのだと思いました。これからもたくさんの人と出会う機会があるでしょう。私は留学で感じたコミュニケーション方法の無限大にある可能性を信じ、人々と積極的に関わることに對して恐れずにどんどん関係性を深めて行きたいと思います。

また、日本の外に出て長期滞在したことで、国境を越えることに対する抵抗が薄くなりました。台湾にいる間にもさらに国を出てシンガポールに旅行をする機会もありました。これから就職するにあたって、仕事をする場所も生活をする場所も自由になると思います。ですので、国境を越えることにも恐れず、どんどん日本の外に出て世界を見ていくためにこれらの経験を活かして行きたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学する際に必要なことは、現地の気候をしっかりと調べた上でのパッキングと、とりあえず外に出てみるということだと思います。現地の気候を調べないと風邪をひいたり体調を崩したりして、医療費という余計な出費が高んでしまうことがあります。私の場合、医療費だけで3万円かかっていました。結局その3万円は日本の大学の保険によって返済されたので、これらの返済金とお年玉でシンガポール旅行に行くことができたので結果的には良かったのかもしれませんが。。また、金銭面においても一つあります。返済不要の奨学金をなるべく多く調べ、申し込んでおくことが大切です。現地でお金がないことに対する不安は思ったよりもきついです。親に追加で振り込んでもらうことが多く、教材費だけでなく旅行に行く際の費用をキツキツで考える必要がありました。留學生活を充実したものにするためにも、資金の調達、貯金は日本にいるうちにしっかりとしておいた方がいいです。

とりあえず外に出るということに対する説明ですが、留學生活の中では、偶然の出会いというものが思ったよりも多いです。私の場合初回の授業の場所がわからなくてうろろうろしていたら、現地の台湾の人がそこまで車で送ってくださったり、他の時に案内してくれた人と友達になり、今では大切なつながりにもなっています。大学内を散歩していたら話しかけられてインスタグラムを交換するという非日常的なこともありました。

以上が留學をするにあたっての私からのアドバイスでした。